

# ささえ♡あい

第1号

2008/11

NPO 法人 川崎介護福祉士会  
発行責任者 村山恵子

## 第一回設立総会開催される

川崎介護福祉士会第一回設立総会が5月17日、福祉パルたかつにおいて来賓をお迎えし、会員130名のうち出席者42名、委任状60名をもって開催され、すべての議案が承認されました。本年度は、「川崎市ホームヘルパー介護福祉士会」設立十周年を踏まえ、会員の皆様のご理解とご支援のもと、「特定非営利活動法人 川崎介護福祉士会」の法人格を取得し、節目の年となりました。



来賓として社会福祉法人 川崎市社会福祉協議会事務局次長 佐藤良和様、神奈川県社会福祉士会 川崎支部顧問 荒井敬八様からお話をいただき、また、社会福祉法人川崎聖風福祉会理事長 井野久明様、社会福祉法人川崎市社会福祉事業団 川崎市恵楽園 元園長 藤田あきら様からメッセージを頂戴しました。

総会に続き「改正 介護福祉士法」について東京福祉専門学校福祉科教務主任 白井孝子様に講演いただきました。

今後は、地域の中で自分らしく生きる高齢者や障害者、その他日常生活を送る中で手助けを必要とする人々に対してサポートできるネットワークづくり、地域住民に対しての情報提供、介護や福祉サービス業務に関する調査・研究に関する事業活動を行い、誰もが安心して暮らせるような地域活動の増進に寄与していきたいと思えます。



## 生涯研修の開催

川崎介護福祉士会では、一般の方を含む介護者を対象とした介護技術の基本と応用について、全5回の研修を予定しています。

本年度の研修はこれまでに、3回開催し、いずれも盛況のうちに回を重ねています。

在宅で介護される方の日常での悩みやより良い介護を目指す現場の要望に応えられるよう、専門家の立場でのアドバイスを受ける機会ですので、お誘い合わせの上、ご参加ください。

今後の日程は、『お知らせ』をご覧ください。

### <第1回>

6月15日(日)「食事介助・ベッドメイキング」

会場:てくのかわさき3階 高津パル

講師:特定非営利活動法人 川崎介護福祉士会会員 長瀬紀子氏

### <第2回>

7月20日(日)「車椅子の移動・移乗」

会場:てくのかわさき3階 高津パル

講師:れいんぼう川崎リハビリテーション科 理学療法士 井上早苗氏

### <第3回>

9月21日(日)「排泄介助・衣類の着脱」

会場:てくのかわさき3階 高津パル

講師:特定非営利活動法人 川崎介護福祉士会会員 本多光江氏





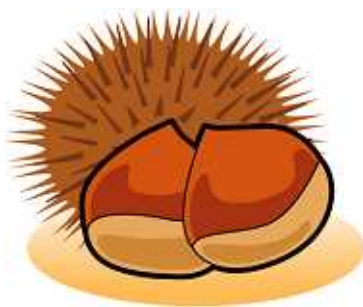
### <参加者の声>

特定営利活動法人 川崎介護福祉士会となって、いろいろな事業がスタートしました。そのひとつの生涯研修の開催 介護技術の基本と応用として6月食事介助・口腔ケア、7月車いすの移動・移乗、9月排泄介助・衣類着脱を開催いたしました。各区役員さんと一緒に手探りで準備をすすめました。今までと違い会員以外の方にも参加のご案内をさせていただきましたので多少の不安はありましたが、各講座とも一般の方の参加も多くほっといたしました。和気あいあいとした雰囲気の中、皆様積極的に実技に参加され、またそれぞれが助言する姿もあり、質問も活発に出されるなど、時間が足りないくらいに熱心に取り組んでいただきました。会員として新しい仲間を迎えることもできました。講座終了後、担当者からも多数の反省点がありました。反省を次回に生かし、今後も多くの方々にご参加いただける生涯研修が開催できるように皆様と一緒に築いて行きたいと思っています。(中原区・S)

私は研修担当に関わってみて受講生の皆様が“積極的に学ぼうとする姿”に心打たれます。

いつも元気にはつらつと仕事をこなしている時、そうでない時、いろいろな時がありますが、この日は学生に戻ったように目を輝かせています。そして講師の方からひとつでも多くの技術を体得しようとする姿勢が、とても美しく見えるのです。

和やかに時が過ぎ、終了時には自身に満ちあふれた笑顔の皆様へ感謝しつつ、安堵する私でした。(宮前区・U)



### <講師から>

生涯研修講師の任を終えて 本多光江

雨が降り出すあいにくの天気でしたが、皆さん熱心にお集まりいただきました。今回は受講生の希望を取り入れながら研修をすすめるよう心がけました。利用者への理解を深めるため、研修中はパンツ式オムツを着用していただきました。

研修の中でもお話ししましたが、特に排泄介助は、単に技術的な域にとどまらず生理的なこと、脳との働きとの関係、そして羞恥心への配慮や排泄用具の多様性など、本当に奥が深い分野です。現場で求められている技術ということで、前開きパジャマ、かぶりのパジャマの衣類着脱、紙おむつのあて方、陰部洗浄について各自実習に取り組んでいただきました。300種類はあるといわれている紙おむつ・パット類の中から選んだものに軽失禁の尿量(5cc×4回分)を実際に含ませた状態を見ていただくことで、利用されている方への理解をしていただけたかと思います。器具を使用している利用者には関わることはあるというヘルパーでも、器具そのものをじっくり見る機会は少ないので、ストーマやパルーンカテーテルの膨らみ方について理解を深めていただきました。

受講生の数に対し2台のベッドを使用してゆったりとした雰囲気の中、受講生の熱心な話や質問への受け答えをすることができ、あっという間の3時間でした。今後レベルにあった研修会を開催することができれば、さらに皆さんの技術向上のステップになるのではないかと思います。

## 川崎介護福祉士会のロゴマークについて



皆さん、本会の前身である川崎市ホームヘルパー介護福祉士会十周年記念誌の表紙を飾った“笑”の題字を覚えていらっしゃいますか？介護の現場に“笑い”が大切ということを改めて確認いたしました。今年 2008年にはその活動が NPO 法人川崎介護福祉士会にバトンタッチされました。

左がそのロゴマークですが、笑顔を囲む 7 枚の葉は川崎市の 7 つの区を表すと同時に、世界で親しまれている絵本、「葉っぱのフレディー」のテーマでもある、命を繋ぐという思いも込められています。

このロゴマーク、実はすでに愛称も持っています。その名は“ニコちゃん”。誰からともなく呼び始め、いつの間にかこの愛称で呼ばれるようになりました。会員はじめ多くの皆さんに親しまれ、可愛がって戴けるように願ひ、会の発展の一助となるよう“ニコちゃん”にも頑張ってもらいたいと思います。

## お知らせ

- 介護福祉士国家技術対策講座  
平成21年1月18日(日)、2月15日(日)  
会場:てくの川崎 3階 高津パル



皆さんの参加をお待ちしております。

### 編集後記

汗をかいては空を見上げる季節から日々寒さが身にしみる季節へとあっという間に季節が変わってしまったようですが、皆様いかがお過ごしでしょうか。NPO 法人川崎市介護福祉士会が発足して、第1号を無事に発行することができました。

会の活動状況など、皆様にわかりやすくお伝えしていければと思います。是非とも目を通していただき、活動の様子をご理解いただければ嬉しく思います。これからも皆様のご協力をいただき、誌面を充実させていきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

編集担当一同

